

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	バンダキッズ神戸		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携が良く、チームで支援内容を検討・実践できている点が事業所の強みです。	こどもが安心して過ごせるよう、生活空間の構造化や視覚的な分かりやすさを意識した環境づくりを行っています。	クールダウンスペースや個別対応スペースの環境調整を進め、より落ち着いて過ごせる環境整備に取り組んでいます。
2	アセスメントや支援計画をもとに、一人ひとりのこどもの状況に応じた個別支援と集団支援を柔軟に組み合わせて提供できている点、日々の振り返りや記録を通して支援の質向上に取り組んでいます。	支援開始前後の打合せや連絡ノート等を活用し、職員間で情報共有を行い、支援内容に一貫性を持たせるよう努めています。	研修や外部からの助言を積極的に活用し、職員一人ひとりの専門性向上を図るとともに、PDCAサイクルをより意識した業務改善を進めています。
3	保護者や関係機関との情報共有を大切に、継続的な連携を図りながら支援を行っている点も強みと考えています。	自己選択や自己決定の機会を取り入れ、こども主体の支援となるよう日々の関わりを工夫しています。 保護者とは日常的な連絡を通じてこどもの様子を共有し、信頼関係の構築を意識しています。	家族支援や地域交流についてもニーズを把握しながら、無理のない形で段階的に充実させていくことに努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンや個別対応のためのスペースが十分とは言えない点。	施設構造やスペースに限りがあり、用途別の空間確保が難しいこと。	クールダウンや個別対応ができる環境づくりを進め、空間の使い分けや環境調整を行う。
2	家族支援プログラムや保護者同士の交流の機会が十分に提供できていない点。	日々の支援業務が中心となり、家族支援や地域交流まで十分に取組む時間や人員確保が難しいこと。	家族支援や保護者交流について、ニーズを把握し、段階的に実施できる方法を検討する。
3	地域交流や外部との関わりが限定的である点。	業務改善に関する取組について、職員間での意識や理解に差があること。	業務改善や振り返りの機会を意識的に設け、職員全体で共有・参画できる体制を整える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	バンダキッズ神戸
------	----------

公表日
2026年2月25日利用児童数
2025年12月31日 24名

回収数 19枚

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		2	「もう少し広いスペースがあれば、嬉しいです。」とのご意見であった。	活動内容や人数に応じた空間の使い方を工夫し、よりのびのびと活動できる環境づくりに努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			3	「男性職員が多い日は、少し嫌がります。人数は十分だと思います。」とのご意見であった。	職員数は維持しつつ、子ども一人ひとりの安心感に配慮し、職員構成や関わり方にも配慮した支援に努めます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		2	「バリアフリーにはなっていると思います。」とのご意見であった。	引き続き、障害特性に応じた環境構成や情報伝達方法を見直し、わかりやすく安全な環境づくりに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			1	「清潔に保てられていると思います。」とのご意見であった。	今後も清掃・整理整頓を徹底し、活動内容に応じた心地よい空間づくりに努めます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1			「専門的な支援は受けられていると思います。」とのご意見であった。	職員の研修や情報共有を継続し、より専門性の高い支援が提供できるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1	「特に不満は感じていません。」とのご意見であった。	公表している支援プログラムと実際の支援内容が一致するよう、定期的な確認と改善に努めます。
	7	こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				「満足しています。今後も子どもをよろしくお願いします。」とのご意見であった。	今後も保護者様のニーズを丁寧に把握し、客観的な視点を大切に計画作成に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			2	「設定されていると思います。」とのご意見であった。	ガイドラインに基づき、本人支援・家族支援・移行支援を含めた適切な支援内容の設定に努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				「しっかりとされている。」とのご意見であった。	個別支援計画に基づいた一貫性のある支援を継続して行うよう努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			2	「子どもは楽しみにしています。」とのご意見であった。	子ども達が楽しみながら経験を広げられるよう、活動内容の工夫と見直しに努めます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4		3	12	「よくわからない。」とのご意見であった。	地域資源との連携や交流の機会について、情報発信を含め検討し、わかりやすくお伝えできるよう努めます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				「説明はありました。」とのご意見であった。	引き続き、運営規程や支援内容等について丁寧にわかりやすい説明に努めます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1			「説明はつけています。」とのご意見であった。	今後も計画内容を保護者様と共有し、理解を深めていただける説明に努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	4	7	「このような機会を増やして欲しい。」とのご意見であった。	保護者様向けの研修や情報提供の機会を増やせるよう検討に努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19				「いつも今日の様子や変化があれば、話してくれます。」とのご意見であった。	引き続き、日々の様子や変化を丁寧に伝え、共通理解を深めることに努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1		2	「忙しくてお便りがみれてない」とのご意見であった。	お便りや連絡手段を工夫し、より情報が伝わりやすい方法で支援が行えるよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				「しっかりと支援されていると思います。」とのご意見であった。	今後も子ども・保護者様の気持ちに寄り添った共感的な支援に努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	5	10	「このような機会があればうれしいです。」とのご意見であった。	交流の機会やイベントについて検討し、家族全体を支える支援に努めます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	1	2	「ご相談をさせて頂きました」とのご意見であった。	相談しやすい体制の周知を行い、迅速かつ丁寧な対応に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			1	「普段からよくお話しは聞いています。」とのご意見であった。	今後も日常的な対話を大切に、円滑なコミュニケーションに努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		2	「インスタを見ています。」とのご意見であった。	SNSやお便り等を活用し、より分かりやすい情報発信に努めます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1	「個人情報は保護されている。」とのご意見であった。	引き続き、個人情報保護を徹底し、安心してご利用いただける体制維持に努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			1	「しっかり想定させていると思う。」とのご意見であった。	今後もマニュアル整備と訓練を継続し、保護者様への周知に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	「お便りにも記載がありました。」とのご意見であった。	定期的な訓練と情報共有を行い、防災意識の向上に努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				「安心して預けています。」とのご意見であった。	引き続き、安全管理を徹底し、安心して通所いただける支援に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19				「しっかり対応されている。」とのご意見であった。	迅速で丁寧な報告・説明を継続し、信頼関係の維持に努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				「安心して通っています。7」とのご意見であった。	今後もこども達が安心して過ごせる環境づくりに努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			「毎日、パンダさんに行くのを楽しみにしていて、将来は働きたいと言っています。」とのご意見であった。	こども達の「楽しい」「行きたい」という気持ちを大切にした支援に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1			「満足しています。今後も宜しくお願致します。」とのご意見であった。	保護者様の信頼に応えられるよう、支援の質の向上に継続して努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		パンダキッズ神戸	公表日			2026年2月25日
0	0	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		専門的支援が行えるスペースを確保して、適切な支援が受けられる体制を作っています。	クールダウンスペースはあるが静養室と兼用のため、今後は専用スペースの確保や環境調整に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		こどもの状態や活動内容に応じて職員配置を調整し、支援の質を保つ工夫をしています。	状況により職員配置が厳しくなる場面もあるため、より柔軟な配置調整に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的にわかりやすい表示や動線を意識し、安心して過ごせる環境づくりをしています。	さらにわかりやすい構造化や表示の工夫を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃や整理整頓を徹底し、活動に応じた空間づくりを行っています。	活動内容に応じた空間設定をより意識し、快適な環境維持に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別対応が必要な際には、落ち着ける場所を柔軟に活用しています。	個別で利用できるスペースが限られるため、環境調整や活用方法の工夫に努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で振り返りを行い、日々の支援改善につなげています。	全職員がより主体的にPDCAに関われるよう、共有方法の工夫に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートの意見を共有し、支援内容の見直しに活かしています。	保護者意見をより具体的な改善につなげられるよう検討を重ねることに努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に職員の意見を出し合い、業務改善に反映しています。	意見交換の機会を継続し、実践への反映をさらに進めるよう努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	内部で評価内容を共有し、改善点を検討しています。	外部評価の実施方法や活用について、引き続き検討に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や内部研修への参加を促し、支援力向上に努めています。	研修参加の機会に偏りが出ないように、計画的な受講に努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを整備し、職員間で共通理解を図っています。	支援プログラムの内容を定期的に見直し、わかりやすい発信に努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントをもとに、一人ひとりに合った計画を作成しています。	アセスメントの質をさらに高め、よりの確な計画作成に努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で意見を出し合い、最善の支援を検討しています。	職員間の意見共有をさらに深め、支援の質向上に努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を共有し、統一した支援を行っています。	計画理解に差が出ないように、共有方法の工夫に努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の観察記録を活かし、こどもの変化を把握しています。	記録の活用をさらに進め、支援の精度向上に努めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを意識し、必要な支援内容を設定しています。	ガイドラインの理解を深め、支援内容の充実に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで活動内容を話し合い、支援に反映しています。	多職種の視点を取り入れ、活動内容の質向上に努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動が偏らないよう、内容を定期的に見直ししています。	新しい活動を取り入れ、より多様な経験ができるよう努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を状況に応じて組み合わせています。	活動の切り替えが難しい場面への配慮をさらに行うよう努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打合せを行い、役割分担を明確にしています。	打合せ時間の確保が難しい場合もあるため、連携方法の工夫に努めます。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎等で打合せが難しいため、連絡ノート等を活用し情報共有にしています。	振り返りの時間確保や共有方法の改善に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を通して支援の検証と改善を行っています。	記録内容の質を高め、より効果的な改善につなげるよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしています。	モニタリング結果の共有をさらに丁寧に行うよう努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	○		複数の基本活動を組み合わせて支援しています。	活動の組み合わせに偏りが出ないよう検討を続けることに努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択の機会を設け、自己決定力を育てています。	より多くの自己選択の場面を設定できるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議等に参加し、情報共有を行っています。	会議参加が難しい場合もあるため、情報共有方法の工夫に努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し、必要な支援につなげています。	連携頻度に差が出ないよう、関係機関との関係強化に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と日常的に情報共有を行っています。	学校との連携をさらに円滑にするための工夫に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前施設との情報共有を行っています。	情報共有内容をより支援に活かせるよう努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒業後の移行支援について、今後の体制整備を検討しています。	移行支援の実績は多くないため、今後のケースに備えた体制整備に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センター等との連携について、今後強化を図る予定です。	連携機会は限定的なため、必要に応じて計画的に活用できるよう努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域交流の機会について、実施方法を検討しています。	地域交流の機会が少ないため、安全面を考慮しながら実施方法の検討に努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会等への参加について、今後の課題として検討しています。	協議会等への参加状況に偏りがあるため、積極的な情報収集と共有に努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡を通して、保護者と共通理解を図っています。	忙しい中でも丁寧な情報共有を継続するよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援プログラムについて、今後の導入を検討しています。	家族支援プログラムの実施方法を検討し、充実に努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		書面を用いて丁寧な説明を行っています。	説明内容がより分かりやすくなるよう工夫に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談等で意向を確認しています。	意向確認の機会を継続的に設けるよう努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画内容を説明し、同意を得ています。	保護者が理解しやすい説明を心がけるよう努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談に応じ、助言や支援を行っています。	相談しやすい雰囲気づくりを継続するよう努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		交流の機会について検討しています。	保護者同士の交流機会が少ないため、実施方法を検討し支援につなげるよう努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応体制を整え、迅速に対応しています。	苦情対応の周知を引き続き丁寧に行うよう努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信やSNSで情報発信を行っています。	情報発信の内容や頻度の充実に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理を徹底しています。	個人情報管理の意識向上を継続するよう努めます。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		分かりやすい伝達方法を工夫しています。	特性に応じた伝達方法の工夫を続けるよう努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域との関わりを検討しています。	地域に開かれた取組を段階的に進めるよう努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、訓練を行っています。	訓練内容を定期的に見直し、実効性向上に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPに基づき、定期的に訓練を実施しています。	非常時を想定した訓練の継続実施に努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に健康情報を把握しています。	情報の更新漏れがないよう確認体制の強化に努めます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書に基づき、アレルギー対応を行っています。	職員間で対応方法の再確認を継続するよう努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿って支援を行っています。	安全管理意識の維持・向上に努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族へ安全に関する情報共有を行っています。	家族への周知内容をより分かりやすくするよう努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し、再発防止に努めています。	ヒヤリハットの分析を深め、再発防止の徹底に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を通じて虐待防止意識を高めています。	研修内容を実践につなげることに努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関する方針を共有しています。	方針の理解が徹底されるよう、継続的な周知に努めます。